



議会だより



- 平成19年度補正予算
- 条例の廃止・改正
- 一般質問
- 意見書・請願処理
- 工事請負変更契約
- 請願審査報告

1月3日 成人式

新春を迎えて

津和野町議会議長

後山 幸次

明けましておめでとうございます。

私は就任以来、町政の進展と円滑なる議会運営に力を捧げてまいりました。その間、町民の皆様から寄せられた温かい御指導や御厚情にお礼申し上げます。

高齢化が進み、複雑かつ多様化する社会情勢に対応して、議会の果たすべき任務は益々重要なものとなっています。

合併後、三年三ヶ月が過ぎ、協定項目の検証等、今後の懸案事項も多い中で、特に地域医療問題の解決は最重要課題です。

また、厳しい財政状況の中で平成二十年度の予算編成も始まっていますが、更に町民の一体感の醸成を図る為に、町民との協働による町づくりを進める必要があります。

私ども議会としましては本町発展のため、全力を尽くす決意を新たにしています。

町民の皆様の今後なお一層の御協力をお願い申し上げますとともに、ご多幸を心から祈念し年頭のごあいさつとします。

平成19年

第8回(12月)

定例会開催される

会期 12月19日から25日まで7日間

平成十九年度補正予算

一般会計

(第三号)

五億七、四二七万円を追加して
総額 七億五、二六六万円

【歳入の主なもの】

・地方交付税 三億円
・普通交付税
・特別交付税 二億二、七〇〇万円

・繰入金 二、一八四万円
・電気通信事業基金

・諸収入 八三二万円
・林業費受託事業収入(未整備森林緊急公的導入モデル)

・県支出金 六五一万円
・社会福祉費補助金(セーフティネット支援対策事業費—生活保護システム導入)

【歳出の主なもの】

・衛生費 五〇〇万円

・医療対策費(石西厚生連運営費貸付金)二億二、七〇〇万円
(経営アドバイザー等委託料) 五〇〇万円

・公債費
・元金(長期債元金繰上げ償還) 二億五、五三六万円

総務費

・企画費(電気通信事業特別会計繰出金) 二、一八四万円

衛生費

・保健衛生総務費(簡易水道事業特別会計繰出金) 一、〇三五万円

総務費

・一般管理費(退職手当組合特別納付金) 九六七万円

農林水産業費

・林業振興費(森林づくり事業委託料) 八三二万円

民生費

・社会福祉総務費(生活保護システム導入委託料) 八二一万円

土木費

・土木総務費(下水道事業特別会計繰出金) 七七四万円

特別会計

国民健康保険特別会計

(第三号)

一億一、二九九万円を追加して
総額 十三億五、二七二万円

介護保険特別会計

(第三号)

二二万円を追加して
総額 十一億六、〇〇九万円

簡易水道事業特別会計

(第三号)

二、三三〇万円を追加して
総額 六億五、一七五万円

下水道事業特別会計

(第三号)

七三三万円を追加して
総額 二億九、四四二万円

奨学基金特別会計

(第三号)

二三一万円を追加して
総額 一、六二四万円

電気通信事業特別会計

(第三号)

三、八九九万円を追加して
総額 一億三、四三四万円

津和野町電気通信事業基金として、三、二二二万円を積み立てた。

一般会計、特別会計ともに
全て全員賛成にて可決

条例の制定・一部改正・廃止

○津和野町犯罪のない安全で安心なまちづくり条例

安全で安心なまちづくりの基本理念として、

一、町民一人一人の自主防犯意識の高揚

二、共に支え合う犯罪のない地域社会の形成

三、犯罪を起こさせにくい環境の整備

を定め、だれもが安全で安心して暮らす事の出来る地域社会を実現するもの

全員賛成にて可決

○個人情報保護条例

町が保有する個人情報の扱いや個人の権利や利益を保護し、公正で信頼できる町政の運営をする事を目的とするもの

全員賛成にて可決

○津和野町職員の給与に関する条例の一部改正

扶養手当、若年層への対応が主な改正点

全員賛成にて可決

○旧日原町電気通信事業基金条例の廃止

津和野町電気通信事業基金に一本化するもの

全員賛成にて可決

○津和野町福祉事務所設置条例

県よりの権限移譲を受け福祉事務所を設置するもの

全員賛成にて可決

○津和野町後期高齢者医療に関する条例

島根県後期高齢者医療広域連合が定めるもの以外で、町が行う事を定めたもの

賛成多数にて可決

○津和野町放課後児童クラブ設置及び管理運営に関する条例

会費をわかりやすく整理したもの

全員賛成にて可決

○津和野町国民健康保険条例の一部改正

国の法改正に合わせての条例改正

賛成多数にて可決

○津和野町農産物処理加工施設の設置及び管理に関する

条例の一部改正

同施設を指定管理者へ委託をするためのもの

全員賛成にて可決

○津和野町簡易水道事業分担金徴収条例の一部改正

特別な事由がある場合、分割して徴収することができもの

全員賛成にて可決

○津和野町民センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

○日原山村開発センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

両地域にあるセンターの条例の文言、使用料、冷暖房の使用料の整合性を図るもの

以上二件は全員賛成にて可決

町道の認定・廃止・変更

認定 長野三步市線、溝端支線、山入虹ヶ谷線、平野上線、平野下線

以上の5路線

廃止 中川前田線

変更 野地ヶ原線

三件とも全員賛成にて可決

津和野町過疎地域自立促進計画の変更

厚生連病院の土地、建物、設備等を購入し、公設民営化するための計画変更

全員賛成にて可決

工事請負契約

○日原添谷線道路改良工事（契約の変更）

変更額

一、二五一万四千円

契約の相手方

堀建設株式会社

賛成多数にて可決

○旧堀氏庭園主屋等保存修理

工事

契約額

二億二、五七五万円

契約の相手方

大畑建設株式会社

全員賛成にて可決

一般質問

これで良いのか公民館の改革！



藤井 貴久男

公民館について

問 公民館の原案の説明会を開催していると聞かすが概略を伺いたい。

答 民館の設置箇所は、津和野、木部、畑迫、小川、日原、青原、須川、左鐙の計八館とし、滝元、枕瀬、池河の各公民館については、日原公民館の分館とする。職員は、館長は非常勤、主事は常勤嘱託職員での対応。津和野公民館及び日原公民館は、施設の管理や地域別の中央公民館的な業務もあるので主事は正職員を配置する。分館は非常勤の分館長のみである。

問 両地域の整合性を第一にしたため、日原地域はかなり無理があり、地域を壊すおそれもある。また、行財政改革の観点からみても、支出が増える。

答 新年度から実施するのか。この原案については、設置バランス等を考慮して作成

したもので、整合性を保ち同一条件での社会教育を推進する体制作りという観点が主である。

問 周知期間等を考慮すると新年度当初からの実施は困難ではないかと考えている。

答 将来的には、自治公民館に移行し、活動費の中から常勤職員を雇用するなどは各公民館にまかせるべきではないか。

答 検討する。

職員の休憩時間

(有給)について

問 職員の休憩時間(有給)は十五分が二回、一日三十分あるがこれを廃止する考えはないか。

答 国は平成十八年度より、休憩時間を廃止。県内二十市町村の内、している団体が十二市町村、廃止していない団体が、本町を含め九市町村。以上のことを踏まえ、休憩時間の取り扱いについては、来年度に向けての検討課題とさせていただきます。

計画のないところに未来はない



青木 克弥

統合振興計画について

問 新町が発足して二年が経過したが、最も重要な町づくり計画が未だに策定されていないのは大きな問題だと思う。

答 この計画のもとに施策が開かれ、予算が執行されるべきと思うが、町長の見解を問う。

答 統合振興計画については町づくり計画の中で最も重要な計画と認識している。

本年二月以降役場内部での検討、調整のうえで審議会での最終答申を得た後、議会への提案を行う予定である。

個々の施策展開があらゆる分野への振興へ結びついていくよう計画に基づく適切な予算執行を行う考えである。来年度予算への反映を図る上で最も早くに策定作業を完了していく考えである。

平成二十年度予算について

問 来年度予算については、最も厳しさを増す中で、どの

様な方法で、何を重点施策に据え予算編成をするのか。また、歳出を抑えるのは当然だが、歳入が増える取り組みも大切である。検討しているか。

答 非常に厳しい財政状況の中で交付税の減額、国や県の補助金が減額される状況にある上に、地域医療を確保するための歳出増を見込まねばならない現況にある。基本的には各種事業、補助金等の更なる見直しを行い歳出の削減に努め、昨年と同様に「枠配分」方式で編成するが繰上償還経費、福祉事務所に関する費用、消防分遣所建設に関する費用等に配慮している。歳入については、税の納入率の向上対策を図るとともにふるさと納税についても検討したい。

地域振興対策について

問 国の特別措置法が切れる前に振興策を考える時では。
答 「地方の元気再生事業」等を有効に活用し取り組む。

“いつまでも元気”をめざして津和野テイクテン



中 岡 誠

高齢期の介護予防の施策は

問 津和野町の高齢者比率は

三八・八％で町内一一六集落
ある中で高齢者率五〇％以上
の集落が二六集落あり、地域
活動が危惧される、高齢者介
護予防と福祉事業の現況は。

答 地域支援事業として、高
齢者が長生き、生活機能の低
下予防、自立、要支援・要介
護を防ぐ目的で実施。

地域包括支援センターを中
心とし、関係機関や住民、地
域等と連携して展開してい
る。

一般高齢者施策として六事
業特定高齢者施策として二事
業実施している。

高齢者福祉事業として地域
お達者サロン事業を実施。

社会参加の促進と介護予
防、高齢者の社会的孤立感の
解消と心身機能の向上を図る
ことを目的としている。

老化予防プログラム「テイク

テン」の活用を

問 働省委託のSP事業で介
護予防活動リーダーとして町
内二三名が受講した。バラン

スのとれた食生活と軽い運動
習慣により、加齢で失われる
筋力の維持ができ現在の地域
保健活動に導入でき、機器類
を使用せず公民館等の会場が
あれば手軽に始められ、介護
保険料、高額医療費の低減効
果が期待できる。今後、津和
野町独自の介護予防、住民参
加のテイクテンの導入の考え
は。

答 津和野町では今後、地域
における介護予防の一環とし
て普及活動を展開して頂くと
ともに継続した取り組みを期
待しているところである。

生きがいや自己実現の為の
支援をし、高齢者個々の生活
の質の向上をめざしている。

その他の質問

・公民館の見直しについて

経済の活性化を

問 島根県が打ち出した「し
まね地域資源産業活性化基
金」の活用について何らかの
アクションを起こしているか
伺う。

答 独立行政法人中小企業基
盤整備機構の「地域中小企業
応援ファンド」を活用して、
国が二十億円、県が四億円、
山陰合同銀行が一億円、計
二十五億円を島根県商工会連
合会が基金造成したものであ
る。この基金の運用益により、
県内の地域資源の価値を再発
見し、地域中小企業等の創意
工夫による地域資源を活用し
た事業化への取組を発掘し、
支援を計画することとされて
いる。

本町においては、津和野町
商工会が窓口となり、事業初
年度と本年度、「中小企業者
ワク」で地域資源の活用を図
る町内業者一社一件、「支援
事業者ワク」で本町商工会が
「観光と食文化」をテーマに



河 田 隆 資

した企業で一件の計二件の申
請を行っている。現在はヒア
リングも終了し、選考の結果
を待っている状況だが、町商
工会によると、今年度は基金
造成初年度であり、まだ運用
益が少ないため、限られた予
算の中では「中小企業者ワク」
を優先するのではないかとの
ことである。

なお「観光と食文化」事業
について不採択の場合は、国
の同系列の支援プログラムで
ある「地域資源活用、全国展
開プロジェクト」へ再度申請
する意向と聞いている。

町商工会では、今後も会員
に対して情報を提供し個々の
企画案を募ると共に、「支援
事業者ワク」についても新た
な企画での申請を検討すると
のことである。また、町とし
ても積極的にこの基金の活用
についてサポートしていくこ
ととしている。

独身男女の出合いや結婚を応援する組織を！



青 木 登志男

二十年度の予算について

問 病院の公設民営化で存続は有りがたいが、予算は大丈夫かとの声を多くの方から聞く。町民は予算に対してかっ

てない関心をもっているが。

答 国県の補助金の減額、厚生連への補てん等々厳しい状況であるが繰上償還経費、福祉事務所の費用、分遣所の建設、掘庭園の修復等に配慮した、六十四億円程度の規模を予定、経常収支比率は九十九・五％、実質公債比率は二十三・三％、基金は八億八千万円程度を予想している。

公民館体制について

問 公民館のあり方の原案を作成したことは評価できる。過疎高齢化が進み数年後は四十％の高齢化率になる。その中で有害鳥獣被害、限界集落など問題が山積する状況で住民が幸せて充実した暮らしができる地域づくりを進める

拠点となるのは地域の中心である公民館である。特に遠隔地の青原、須川、左籬、木部、畑迫、小川地区には窓口的住民サービスが重要である。新体制の実施時期は。

答 原案は通学区、人口、高齢化率、施設の設定バランス等を考慮した。二年後には再度見直しを行いたい。また周知期間等で新年度当初からの実施は困難と考える。

後継者問題について

問 旧津和野町で「後継者対策協議会」が男女の出合いや結婚を応援する組織でそれなりの成果もあったと思う。人口、定住対策、産業振興の上からも町内外に暖かい話題を広げようではないか。

答 定住対策からも重要な課題であり、行政と民間の連携による新たな仕組みを展開していきたい。

聴覚障害者のコミュニケーション支援の充実を



竹 内 志津子

公民館の組織について

問 日原公民館の主事は教育委員会職員を兼ねるのではなく、教育委員会窓口の職員は別に配置すべきではないか。

答 旧両町の整合性を考え、ご意見を参考にして再度検討したい。

聴覚障害者のコミュニケーション支援について

問 ①津和野町障害福祉計画策定に当たり、各種障害者の意見を反映すべきではないか。

②手話通訳の設置が月一回、二時間半だけはあまりにも少ない。回数を増やすべきではないか。必要とき使えるように派遣回数も増やすべきではないか。あゆみの里で相談が受けられるよう、町が予算化し、委託すべきではないか。

③緊急時の連絡体制はどの様になっているか。

④手話奉仕員の養成事業を行っているかどうか。

⑤養成を含めた啓発活動を町

として取り組む考えはないか。

答 ①計画の見直しには各種障害者の意見を反映したい。

②手話通訳設置の回数について希望状況を踏まえ、設置日数を増やす方向で検討したい。派遣については福祉計画の数値目標に近づけるよう努力したい。あゆみの里への委託については、状況を調査し確認して検討したい。

③緊急時の体制は不十分。早急に関係部署と協議を深め要支援者への体制を整えたい。

④手話奉仕員の養成は、ニーズが多くあれば対応したい。

⑤障害者が健常者と同様に不自由なく生活できるよう、バリアフリー、啓発活動を中心に前進するよう努力したい。

小中学校の通学費補助について

問 日原地区も津和野地区なみの補助をすべきではないか。

答 新町での整合性を考慮して検討し、平成二十年四月より実施したい。

町民に優しい医療を



村上 英喜

病院問題について

問 破綻している病院経営を救済するために、町として、国と県に働きかけていると思うが、その後進展はあったか。

答 当町では、医師の確保そして地域医療の確保のための要請は、機会あるごとに、関係機関をお願いしている。

今回の厚生連問題について

でも、県庁内の関係する財政、医療、農業の三課が連携を取って多大な支援をいただき、大きな成果を考えている。

問 診療拒否の問題も、国会で議論されているが、共存病院でも、診療拒否があると住民からよく聞くが、町として指導など対策をしているのか。

答 「診療拒否がある」との指摘だが、専門医のところでは診察してもらったら、「平素の掛り付け医師と相談されては」との受け答えが誤解され診療拒否をされたと感じてしまうこともあるので、医療機関に診療拒否をされたという

ような不快感を与えないように伝えたい。

携帯電話問題について

問 携帯電話エリア等の、調査を実施したのか。調査結果があるか。

答 携帯電話の不感地域の調査は、町内七地区、五百人が影響を受けていると結果が出ている。

問 携帯電話のアンテナに関する要望があるが、民間会社などに要請しているのか。また、今後の取り組みはあるのか。

答 民間事業者には、現在のところ要望等は行っていない。

世帯数の少ない集落等は、調達コストの面で採算割れとなることから、要望は困難と判断している。

問 調達コストが採算割れと判断するのは、民間事業者なので、積極的に要望すべきと思うが。

答 民間事業者などへの要望は、検討し努力する。

木部地区のスクールバスの利用方法は



斎藤 和巳

問 今回導入が決まっている木部地区のスクールバスは、学生の登下校時の安全を守る事が最大の目的である。あいている時間帯の利用方法として、学校行事、教育的事業はもちろん利用されると思うが、路線バスのない三歩市、畑、小野、小山地区において週に一回でもいいので生活バスとしての利用は可能か。

答 今回の導入経費は辺地債を財源としており、導入時は目的外に使用される事が制限される。目的外使用は手続きによりバス運行に支障のない範囲での利用は可能であり運行しない時間帯の学校活動への利用も含め運行計画を検討中である。

生活バスや医療バスの利用については、路線バスとの兼ね合いもあり今後の課題と考えている。

町行造林について

問 今までかなりの面積の町

行造林がされている。その中で台風害、雪害により大変な被害面積は。

地権者から被害整理の要望を聞く。今までの投資を無駄にしない為にも計画的に整理する必要があると思うが。

答 町行造林は昭和四十六年から植林を始め、現在二二九団地七二九・八八ヘクタールの植林をしている。その中で被害面積は森林組合で推計していただいたところ十七団地の一・八二ヘクタール程度である。

被害整理については、財産を守る、残った木を守る為にも地権者の要望はもつともであるが現在の体制ときびしい財政状況では整理する余裕がないのが現状であり大変申し訳なく思っている。

保険適用のこともあり、台風や大雪に備え現場確認が早急にとれる体制は必要と思う。

待ったなし、地球温暖化対策



板垣敬司

資源循環型社会の構築について

問 地球温暖化対策が叫ばれている中で本町としてどのような取組みを考えておられるか。

答 地域省エネルギービジョン策定委員会を九月に設置して町民意識調査や先進地調査等を行い省エネ可能量調査などに基づいた基本方針、推進施策の設定さらにCO2の削減目標を掲げた計画を一月中にまとめ住民との協働体制のなかで推し進めていきたい。

問 「菜の花プロジェクト」を立ち上げる考えはないか。

答 バイオマスは有機物であり二酸化炭素の発生が環境に影響を与えない「カーボンニュートラル」という特性を持っている。廃棄物や農林業の生産過程と連携した持続可能な資源循環利用型社会を実現する施策として「バイオマ

スタウン構想」として国の各省による連携や、地域毎の取組みとして導入促進を実施していくこととされている。

本町でも既に特定農業法人や集落営農組織が菜種栽培に取り組んで一部をトラクターなどの燃料に利用している。

現在、策定中の町総合振興計画において重点的に取り組む施策として四つの「町づくりプロジェクト」を掲げている。菜の花を通じた取組みは「津和野タウン・エコプロジェクト」（仮称）に位置づけている。

農業の担い手不足や米の生産調整強化などによる遊休農地や耕作放棄地の増大を防止すると共に国土保全をはじめとした農業農村の多面的機能の維持、強化のうえからも重要な課題と認識している。

町が共存病院を買い取り公設民営化を決断



沖田 守

公設民営化について

問 JA石西厚生連（日原、津和野両共存病院）の資産一式を危機的状況にある町財政の中で取得し、公設民営化することの明確な説明を求めらる。

答 両共存病院の経営は、近年の医療制度改革、医師不足等により経営悪化に加え、一番の問題は、平成元年の日原、平成三年の津和野両共存病院の改築に伴う償還費用が重くのしかかっていることである。

現在残っている長期債務は（九月末約九億三千八百万円）町が損失補償契約をしており、この長期債務は二〇年度より施行される地方公共団体の財政健全化法に債務としてカウントされる見込みである。数値によっては早期健全化団体になる可能性もあることから、内部協議を重ね「地域医療を確保」し「早期健全化団体を回避」するためには「公設民営化」が唯一の選択肢であるとの結論にいたつた。

問 取得資産の範囲と金額、その財源措置、財政健全化法に基づく数値はどうなるか。

答 両病院、老健せせらぎ、医師住宅及び各建物、機器備品、土地である。不動産鑑定価格は十一億三千二百万円である。財源は有利な地方債を予定しており、国、県と協議中である。実質公債費比率への影響が大きく二四％前後となる見込みである。

問 公設後の民営化は内定しているか。

答 質の高い医療サービスを継続的・安定的に、そして効率的に提供できる体制を確立する必要がある。したがって二〇年四月までの間において現厚生連から新たな組織に代わるには時間的余裕がなく、併せて税金、職員の解雇、それに伴う退職金の問題、再雇用等々を考えた時、当面は現行の厚生連に託すことを考えている。

農業とデザインの接点



道 信 俊 昭

つわの野菜のイメージアップ

問 農業問題抜きで町づくりは語れない。が、現状はほとんど国の政策で動いている。町議として何かお手伝いできる事はないのか。

答 私は、津和野の野菜農家が透明のビニール袋に様々な野菜を少しずつ詰めて販売しているのに着目していた。

一九八九年から八年間「津和野デザインサミット」というイベントが開かれ、津和野町にふさわしい四種類のデザインが出来上がった。

J A島根の「蝶」のパッケージデザインが参考になるが、つわの野菜のブランド化が図れないか。行政として一肌脱いでもらいたい。

答 この提案は農業と商業の連携や地産地消の向上、さらに町のイメージアップにもなる。まずはシールという形で利用すべくJ A等の皆さんと協議して取り組みたい。

恐るべし乳幼児の才能

問 津和野町直地の児童館で三歳の子供に出会った。親のアメリカ転勤で現地の保育園に通っている。大人と話す時は日本語だが同年代の子供だととたんに英語になるという。

答 人はこの時期に顔を洗い歯を磨く習慣を身につける。この時期に「学ぶ」習慣を身につけるとそれは一生ものになる。まさに「三つ子の魂百までも」である。

小中学生の学力向上や津和野高校の進学問題、生涯学習の発達は乳幼児にある。

モノ言わぬ子供達に行政として暖かい手を差し伸べてもらえぬか。

答 この時期は見る・聞く・触る・嗅ぐ・味わうの「右脳」を育てる。それは後々の論理、数学、語学の「左脳」の育成に連動する。本町は感性豊かな子供をしつかり育てる保育所を目指す。

住民参画社会に向け具体策を講じるべきでは



下 森 博 之

AEDの周知について

問 突然の心肺停止を回復させる機器であるAEDの町内設置場所と使用方法を町ホームページ等で周知をするべきではないか。

答 公共機関のみならず、民間が設置しているものも合わせて把握し、広報誌、CATV、ホームページ等にて日常的な周知を図りたい。

SNSの導入について

問 ネット上で住民との情報交換を行い、住民の意見を施策に反映する目的でSNSを導入する自治体が増えている。住民参画社会を促進するための手法として、わが町も取り組むべきではないか。

答 総務省で行っている実証実験結果をもとに費用対効果を検討したい。また、住民の意見の反映方法など、わが町の実態に即して多角的な観点から有効的であるかどうか判断したい。

民間活動の支援について

問 民間の尊いまちづくり活動がこれまで以上に促進されるよう行政からの支援を強化する必要がある。県や国、あるいは大手企業が提供している助成制度の周知や申請手続き等の相談を役場窓口業務の機能拡充等を通して行うべきではないか。

答 町広報を通して様々な制度やメニューをお知らせすると共に、役場窓口の機能強化や住民に対して町職員が出向いて情報提供や制度の説明を行う「出前講座」（仮称）を活用しながら支援に努めたい。

企業立地について

問 わが町の産業振興策や定住要件の整備策として、企業立地に取り組むべきでは。

答 遊休地の活用を念頭に製造業だけにとらわれない企業誘致と共に、近隣市町と連携して雇用者用の住宅建設等も推進したい。

請願

森林の整備、林業・林産業の振興に関する意見書採択についての請願

【請願趣旨】

林業・木材産業の再生に向けた強力な施策が展開されるよう要請する意見書を採択し、関係機関に提出いただきたい。

【請願者】

松江市内中島町二〇七

森林労連 全国林野関連労働組合 島根森林管理署分会

執行委員長 深田浩嗣

【紹介議員】

中岡 誠

全員賛成にて採択

森林の整備、林業・林産業の振興に関する意見書

近年の地球温暖化対策や自然災害防止策としても森林の整備保全の一体的な推進が強く求められている。早急にかつ強力に林業・木材産業の再生に向けた施策の展開が必要と考え意見書を提出するものである。

一、森林・林業基本計画の推進と平成二十年度予算の確保

二、林業振興事業執行のための地方財政追加措置及び森林所有者負担の軽減

三、林業・木材産業の再生に向けた諸施策の展開

四、国土保全対策の推進

五、地域振興に資する管理体制の確保

六、違法伐採対策の推進

七、森林整備地域活動支援交付金制度の継続・充実

提出先

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・環境大臣・農林水産大臣・林野庁長官

全員賛成にて可決

健康保険でよい歯科医療の実現を求める意見書採択の請願

【請願趣旨】

国民が安心して良質な歯科医療を受けることができる医療の実現を求める意見書を採択し、関係機関に提出いただきたい。

【請願者】

松江市嫁島町九番三五号

島根県保険医協会

会長 古沢正治

【紹介議員】

竹内志津子

賛成多数にて採択

健康保険でよい歯科医療の実現を求める意見書

長年にわたり進められてきた低医療費対策により、歯科の基礎的技術料は低く据え置かれている。近年の度重なる診療報酬の引き下げにより、健康保険のきかない自費診療が増えるとともに、国民への良質な歯科医療を提供する体制が確保できなくなる状況にある。この様な状況を打破するためには医療費の総枠を拡大し基礎的技術料の大幅な引き上げ等診療報酬の抜本的な改善が早急に必要であると考え、国民が安心して歯科医療を受けることができるよう意見書を提出するものである。

提出先

内閣総理大臣・衆議院議長・衆議院・参院厚生労働委員長・総務大臣・厚生労働大臣・財務大臣

全員賛成にて可決

後期高齢者医療制度の抜本的見直しに関する請願

【請願趣旨】

高齢者が安心して医療を受けられるよう後期高齢者医療制度を抜本的に見直すことを求める意見書を採択いただきたい。

【請願者】

松江市大正町四四二一六

今岡ビル三F

島根県社会保険推進協議会

会長 池淵栄助

【紹介議員】

竹内志津子 青木克弥

賛成少数にて不採択

町道青原市街線舗装改修に関する請願

【請願趣旨】

町道青原市街線舗装を早期に改修していただきたい。

【請願者】

津和野町青原四六一一四

青原共同会

会長 佐藤武文

【紹介議員】

竹内志津子

本請願の審査は、経済常任委員会に付託された。

議員発議

道路整備の財源確保に
関する意見書

道路は活力ある地域づくり、快適な生活環境や安全で安心で
きる県土の実現を図るためには
必要不可欠な社会基盤である。

我々地方の町村にとっては道
路特定財源を全額道路整備費
として確保することが地域間格
差を是正する上でも最低の条件
であると考え意見書を提出する
ものである。

一、地方が真に必要な道路
整備に必要な道路整備費を十
分に確保すること。

二、「山陰自動車道」及び「尾
道松江線」の整備を今後十年以
内に完成するよう「中期計画」
で明確にすること。

三、地域間格差をこれ以上増大
させないため地方の道路整備費
の拡充・強化を図ること。

賛成多数にて可決

提出先

内閣総理大臣・財務大臣・国
土交通大臣・衆議院議長・参議
院議長

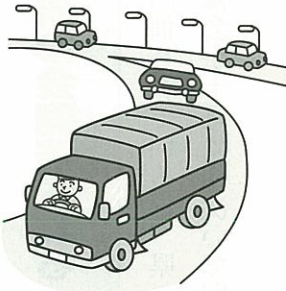
第七回臨時会

平成十九年十一月十九日に、
第七回臨時会が開催され、次の
付議事件について審議された。

津和野町教育委員の任命につ
いて

齋藤数弘委員の任期満了につ
き新たに次の者が任命された。

住所 津和野町内美五一七
氏名 齋藤 誠
任期 四年



請願審査報告

文教民生常任委員会

福谷地区水道施設整備に関す
る請願

九月議会において付託された
案件。

【請願事項】

集落において、飲料水供給施
設を早期に整備して頂きたい。

【審査結果】

本町の簡易水道特別事業会
計は赤字の解消が解決課題と
なっているが、飲料水は人間の
営みを司る源となるものであ
り、町民が安全安心な生活を平
等に送るため水道未普及地区の
解消は第一義に考慮されるべき
と考える。下高野簡易水道施設
へ接続させることが現実的であ
るが水道管が老朽化しており整
備計画を策定し、水利権者の理
解を得る意見を付記し採択と
するものと決した。

本会議において全員賛成で採
択

文教民生常任委員会
所管事務調査報告

【調査事項】

町内文化財施設の現状調査。
対象は永明寺、鷺原八幡宮、多
胡家表門、旧堀氏庭園、徳城住
還、藤井家、下森家、津和野城
跡をそれぞれ現地に赴き調査。

【調査の結果】

(一) 文化財の保存が計画的に
行なわれるよう予算面におい
ても特段の理解を頂きたい。
(二) 説明看板についても住民活
力を活用する等経費負担を
低くする模索など努力を望
む。

(三) 町民の文化財に対する意
識の醸成を図るためにも更な
る啓発活動を期待する。

(四) 津和野城跡の石垣修復工
事が予算面から工事にとりか
かれない。歩行者に危険な状
態が続いているので改善を図
る必要がある。

(五) 登録文化財は今後津和野
地域の施設を中心に申請が検
討されている。町民の意識を
高め、わが町の文化の高揚を
更に促進する観点からも積
極的な活用を望む。

諸般の報告

(九月定例会以降)

10月22日

鹿足郡環境衛生組合
議会鹿足郡不燃物処理組
合議会鹿足郡養護老人ホー
ム組合議会

鹿足郡議員研修会

島根県町村議会議長
会議員研修会津和野町功労者表彰
式

30日

文教民生常任委員会

11月4日

島根県町村議会議長
会臨時総会

21日

第七回臨時会・全員
協議会

22日

益田地区広域市町村
圏事務組合議会

文教民生常任委員会

全国町村議長大会

27日

議員定数調査特別委
員会

30日

12月7日



議員研修会開催される

毎年開催されている郡、県の議員研修会が十月に相次いで開催された。

鹿足郡議員研修会は十月二十三日に日原山村開発センターで開催された。

県西部県民センター所長、武永淳氏を講師にお招きし、『島根県の過疎地域の現状と石見地域の振興』との講演をいただいた。

県町村議会議員研修会は十月三十日松江タウンプラザ島根において、午前はニッセイ同和損害保険株式会社顧問、仁科英磨氏の『地方財政の改革と町村議会議員の皆様に期待すること』と題しての講演。

午後は政治評論家、有馬春海氏の『福田政権の課題と展望』との講演であった。



編集後記

新しい平成二〇年を迎えることが出来ました。町民の皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えになられたことと推察いたします。昨年は政治、経済をはじめとして大変革の年でありました。又地球規模で考えますと、地球温暖化による影響が、人類をはじめ動植物に深刻な被害をもたらしている現状が年頭のテレビでも放映されておりました。私達があまり気にとめることもなく行っている生活のすべてが原因の一つでもあると言われております。地球温暖化の原因は温暖化ガスです。温暖化ガス排出の約二割が樹木

の伐採が起因するといわれております。もうひとつ、省エネへ向けた対策として「低炭素社会」というのがあります。日本人の一年間一人あたりの二酸化炭素(CO₂)の排出量の平均は九二三kg、公共交通がととのっている東京の一人あたりのCO₂量は五四一kgで全国平均の約半分であり都会が低炭素社会であるという論議もあります。田舎で暮す私にとつて、多くの植物、森林による炭酸同化作用等を考えると反論もあるところであります。エネルギー、食料をほとんど輸入に頼る日本はCO₂排出量は異常に高いと言わざるをえません。果たして低炭素社会になれるのだろうか。しかし地球温暖化による気象変動など人類の生存をも左右されるとなると不安でもあります。私も今年は交通手段としてなるべくバイクを使用することによって思うっております。さて皆様はどうされますか。

編集委員

(須川)

竹内志津子 青木登志男

青木 克弥 須川 正則

藤井貴久男 道信 俊昭